

第146回定時株主総会 質疑応答要旨

当資料は、2024年6月11日（火）に開催した当社第146回定時株主総会において、株主の皆様から事前および当日にいただいた主なご質問と、その回答を要約したものです。

【エンジン認証問題について】

- Q1. エンジン認証問題について、納期等のプレッシャーがあったのではないかと、再発防止をいつまでに行うのか。また、再発させない決意について聞かせて欲しい。
- A1. 業務の中で納期のプレッシャーは確かにある。管理職、経営層が各職場、一人ひとりの状況を自ら目で確認し、声を聴き、必要なリソースを投入することが重要。いつまでにできるかは断言できない部分もあるが、しくみや規定で今すぐできることはすぐにやる。職場の風土、環境を変えるところは時間をかけて、肚落ちしながら取り組んでいく。形だけで終わらせない本気の取組みを進める。
- Q2. トヨタ自動車でも認証問題が発生した。今回の対策はトヨタと一緒に進めるという説明だが、見直しは不要か。
- A2. 再発防止には様々な策があるが、現在グループで取り組んでいるTPS自主研など、グループの知見を共に持ち寄ることは有効であり、引き続き取り組んでいきたい。
- Q3. エンジン認証の件でかかった経費の額は。また2024年度以降の利益への影響は。
- A3. 2023年度に525億円を引き当てているが、これは2024年度に見込む経費を含んでおり、現時点ではこれ以上の影響は認識していない。また2022年度にも207億円を引き当て済みである。
- Q4. フォークリフト用エンジンの型式認証取り消しへの補償の進め方が不十分では。
- A4. 生産財であるフォークリフトの補償については、お客様の稼働影響を最小限に抑える、またそのためのコストを当社が負担するという考えで進めている。個別の課題についてもしっかりとご意見を聞きながら、販売店とともに対応していきたい。

【車の電動化対応について】

- Q5. 車の電動化対応に課題はないのか。車載用電池事業の状況は。
- A5. 電池事業については、立ち上げのフェーズであり、生産、搭載機種を拡大させ、これから収益面の改善を進めていく。
- また電池で培った技術を活かした新しい水素発生装置の電極についても先日公表したところであり、こうした開発力をベースに今後もしっかりと事業を行っていきたい。BEV(電気自動車)の拡大が鈍化した場合でも、エレクトロニクス製品、電動コンプレッサーについては、HEV(ハイブリッド車)やPHEV(プラグインハイブリッド車)にも対応する製品のため、マルチパスウェイにしっかりと対応し、ご期待にお応えしていく。

【政策保有株式について】

- Q6. 政策保有株式の削減の対象にトヨタ自動車の株式も含まれるのか。
- A6. 政策保有株式にトヨタ自動車の株式は含んでいないが、今後資本効率化を考える中で、様々な形で精査していく対象になりうる。

【物流ソリューション事業での海外買収企業の進展】

- Q7. 買収後のバスティアン社、ファンダランデ社を中心とした、物流ソリューション事業の進展について教えてほしい。
- A7. 2021年までは順調に成長してきたが、コロナ禍の影響で空港システムの受注が減少するなど、停滞は確かにあった。しかし、物流自動化に対するニーズは中長期的に高く、事業進展の余地は十分にあると考えている。
- 当社にとって「ど真ん中の事業」と位置づけ、今後も国内外問わず、ビジネスがあれば取っていきたい。また、人材やエンジニアの育成、新たな仲間づくりにも注力し、事業を成長させていく。

【カーボンニュートラルへの取り組みについて】

- Q8. カーボンニュートラルについて、2030年目線で製品への貢献はどうか。
- A8. 生産活動における省エネ活動の推進、再生エネルギーの活用に加え、製品面でも2030年度の売上高に占める電動化商品比率を70%以上にすることを目標に、電動コンプレッサー、車載用電池、電動フォークリフトなどの開発に注力していく。さらに水素社会構築への貢献として、燃料電池関連製品についても引き続き取り組んでいく。このような取り組みを通じ2050年度までの早い段階でカーボンニュートラルの達成を目指す。

【女子ヨットのパリ五輪出場について】

Q9. 女子ヨットのパリ五輪での目標、日ごろの活動内容は。

A9. 今回パリ五輪出場を決めたのはセーリング競技 女子二人乗りの49erFXという種目で、選手達は8位入賞を目標とし、日々厳しい練習を行っている。

日頃は、蒲郡市にある豊田自動織機海陽ヨットハーバーで練習を行い、2022年からは本格的に強化を始め、今回五輪出場を果たすことができた。

パリ五輪本番での活躍を従業員一同期待している。

以上